

授業科目

言語聴覚障害学応用特論II

担当教員名 山岸 達弥、今井 信行、西尾 正輝、吉岡 豊、渡辺 時生、栗崎 由貴子、内山 信、 桑原 桂、大石 如香 他	対象学年	4	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	60

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	

授業の概要

言語聴覚障害学とその関連領域についての専門基礎的学識、すなわち、言語聴覚障害学総論、失語・高次脳機能障害学(失語症、高次脳機能障害)、言語発達障害学、発声発語・嚥下障害学、聴覚障害学の各分野について、それぞれの専門教員によるオムニバス形式にて、包括的に修得する。

授業の目的

言語聴覚障害学とその関連領域についての専門基礎的学識を包括的に修得する。

学習目標

1. 言語聴覚障害学にかかわる領域の知識を体系的に修得することができる。
2. 言語聴覚士国家試験出題基準に沿いながら、学識を合格水準にまで高めることができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	言語聴覚障害学概論	講義	大石 如香
2	言語聴覚障害診断学	講義	大石 如香
3-5	小児聴覚障害	講義	桑原 桂
6-8	成人聴覚障害	講義	桑原 桂
9-11	補聴器・人工内耳	講義	桑原 桂
12-13	視覚聴覚二重障害	講義	吉岡 豊
14-16	失語症	講義	栗崎 由貴子
17-19	高次脳機能障害	講義	内山 信
20	運動障害性構音障害	講義	西尾 正輝
21	摂食嚥下障害	講義	今井 信行
22-24	音声障害	講義	渡辺 時生
25	吃音	講義	渡辺 時生
26-27	言語発達障害	講義	山岸 達弥
28-29	器質性・機能的構音障害	講義	非常勤
30	まとめ	講義	各担当

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	適宜紹介する。					
その他の資料						

評価方法

定期試験をもって評価する。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：火曜日 12:00～13:00
連絡先：yamagisi@nuhw.ac.jp